

秋 田 県

土木工事共通仕様書

平成 2 7 年 4 月 1 日以降適用

出来形管理基準

【治山・林道編】

赤字：秋田県独自項目

青字：今回改訂部分

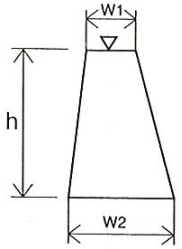
(H27. 4. 1改訂)

— 表紙 (裏) 空欄 —

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	1		植生工 (種子吹付工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (種子筋工) (人工張芝工) (植生穴工)		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	1		植生工 (厚層基材吹付工) (客土吹付工)		

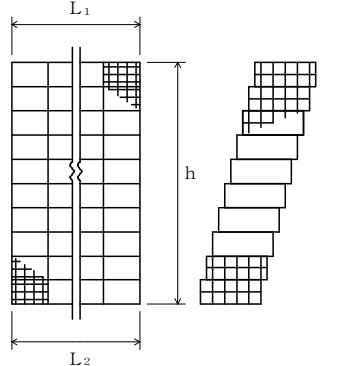
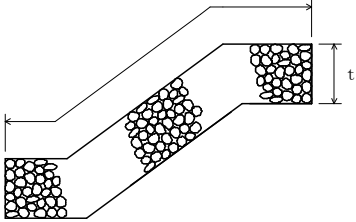
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2-1 植生工に準ずる。		
第1編3-14-2-2 植生工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	2		区画線工		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	4		視線誘導標		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	5		木製構造物工	延 長 L	-100
						幅（厚さ）w1, w2	-50
						の り 勾 配	±0.5 分
						高 さ h	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-9区画線工に準ずる。		
第1編3-3-10道路付属物工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		

出来形管理基準（治山林道編）

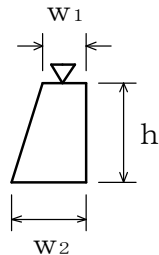
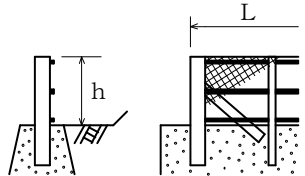
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	1	鉄線籠工 (ふとんかご工)	高 さ h	-100
						延 長 L_1, L_2	-200
						幅 (厚さ) w	-50
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	2	鉄線籠工 (じゃかご工)	法長 ℓ	
						$\ell < 3\text{ m}$	-50
						$\ell \geq 3\text{ m}$	-100
						厚 さ t	-50
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	11		管きよ工 (ヒューム管) (P C管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	単位mm
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第19編 2-6-7 プレキャストカルバート工に準ずる。		

出来形管理基準（治山林道編）

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	12		杵工 （鉄筋コンクリート方杵） （片法杵工） （鋼製杵工）	基 準 高 ∇	±50
						幅 w	－30
						高 さ h	－50
						延 長 L	－200
						の り 勾 配	±0.2 分
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	13		鋼製柵工	高 さ h	±30
						延 長 L	－200
18 治山編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	14		金網張工	幅 w	－200
						延 長 L	－200

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		

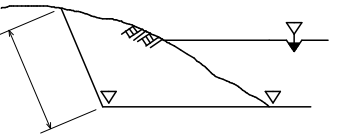
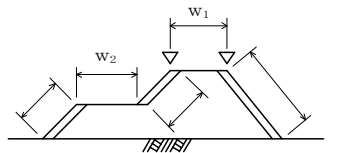
単位：mm

出来形管理基準（治山林道編）

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	1	土留・仮締切・土のう工 (H鋼杭) (鋼矢板)		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	2	土留・仮締切・土のう工 (アンカー工)		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	3	土留・仮締切・土のう工 (連節ブロック張り工)		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	4	土留・仮締切・土のう工 (締切盛土)		
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	16	5	土留・仮締切・土のう工 (中詰盛土)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	単位mm
第1編3-10-5-1 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-2 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-3 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-4 土留・仮締切工 に準ずる。		
第1編3-10-5-5 土留・仮締切工 に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	6 土 工	2 一 般 土 工		掘削工、切土工	基 準 高 ▽	±50	
						法 長 ℓ	ℓ < 5 m	-200
							ℓ ≥ 5 m	法長-4 %
						延 長		-200
						の り 勾 配		± 5 厘
18 治 山 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	6 土 工	3 一 般 土 工		盛土工、埋戻し	基 準 高 ▽	-50	
						法 長 ℓ	ℓ < 5 m	-100
							ℓ ≥ 5 m	法長-2 %
						幅 w ₁ , w ₂		-100
						延 長		-200
						の り 勾 配		± 5 厘

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。		

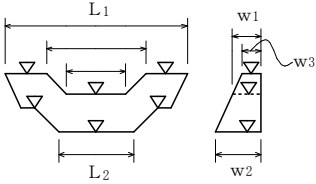
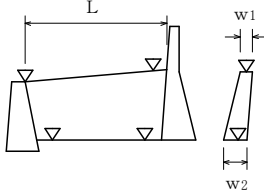
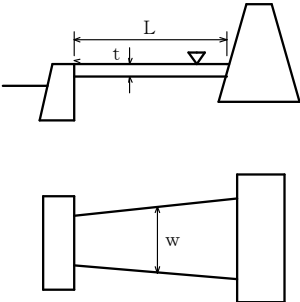
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	2 溪 間 工	3 工 場 製 作 工	3		鋼製ダム製作工 （仮組立時）		
18 治 山 編	2 溪 間 工	3 工 場 製 作 工	4		鋼製ダム仮設材製作工	部 材	$\pm 3 \cdots \cdots$ $\ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \cdots$ $\ell > 10$
18 治 山 編	2 溪 間 工	3 工 場 製 作 工	5		工場塗装工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-12-3-3桁製作工（鋼製えん堤製作工（仮組立時））に準ずる。		
図面の寸法表示箇所にて測定。		
第1編3-12-11 工場塗装工に準ずる。		

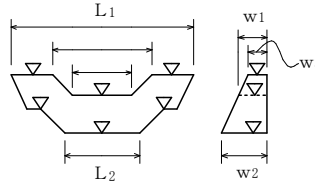
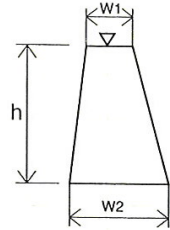
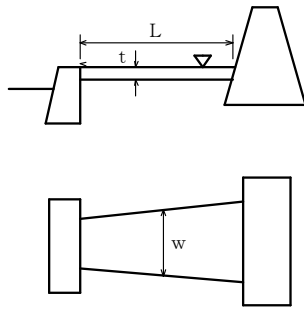
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	4 コンクリートダム工	3 4		コンクリートダム本体工 コンクリート副ダム工	基 準 高 ▽	±30
						天端部 堤 幅 w_1, w_3 w_2	－30
						水通しの幅 $\ell_1 \ell_2$	±50
						堤 長 L_1, L_2	－100
						の り 勾 配	±0.2分
18 治山編	2 溪間工	4 コンクリートダム工	5 6		コンクリート側壁工 間詰工	基 準 高 ▽	±30
						幅 w_1, w_2	－30
						長 さ L	－100
						の り 勾 配	±0.2分
18 治山編	2 溪間工	4 コンクリートダム工	7		水叩工	基 準 高 ▽	±30
						幅 w	－100
						厚 さ t	－30
						延 長 L	－100

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所にて測定。		
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点にを測定直角な水平延長。		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		

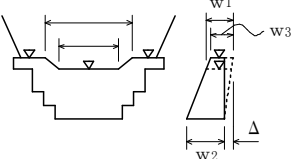
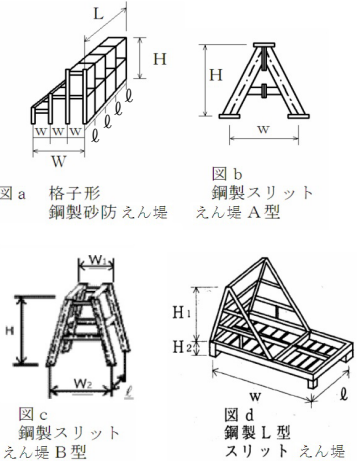
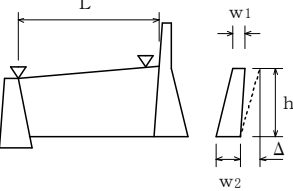
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	4		木製ダム工本体工	基 準 高 ▽	±50
						堤 長 L	±100
						幅 w ₁ , w ₃	-50
						の り 勾 配	±0.5 分
18 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	5		木製側壁工	基 準 高 ▽	±50
						幅 w ₁ , w ₂	-50
						延 長 L	-100
						の り 勾 配	±0.2 分
18 治山編	2 溪間工	5 木製ダム工	6 7		間詰工 水叩工	基 準 高 ▽	±50
						幅 w ₁ , w ₂	-50
						延 長 L	-100

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
図面の表示箇所にて測定。		
1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点にを測定直角な水平延長。		
基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所にて測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
18 治 山 編	2 溪 間 工	6 鋼 製 ダ ム 工	4		鋼製ダム本体工 (不透過型)	水 通 し 部	堤 高 ▽	±50
							長 さ ℓ	±100
							幅 w ₁ , w ₃	±50
							の り 勾 配	±0.2 分
						袖 部	袖 高 ▽	±50
							幅 w ₂	±50
							の り 勾 配	±0.2 分
18 治 山 編	2 溪 間 工	6 鋼 製 ダ ム 工	4		鋼製ダム本体工 (透過型)	堤長 L (m) 格		±50
						堤長 ℓ (m) 格・B・L		±10
						堤幅 W (m) 格		±30
						堤幅 w (m) 格・B・L		±10
						堤幅 w (m) A		±10
						高さ H (m) 格・B・L		±10
						高さ H (m) A		±10
18 治 山 編	2 溪 間 工	6 鋼 製 ダ ム 工	5		鋼製側壁工	堤 高 ▽		±50
						長 さ L		±100
						幅 w ₁ , w ₂		±50
						の り 勾 配		±0.2 分
						高 さ h	h < 3 m	－50
							h ≥ 3 m	－100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 図面の表示箇所にて測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		
測定項目の格, A, Bはそれぞれ 格:格子形鋼製砂防えん堤 A:鋼製スリットえん堤 A型 B:鋼製スリットえん堤 B型 L:鋼製L型スリットを表している。		
1. 図面に表示してある箇所にて測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	2 溪 間 工	6 鋼 製 ダ ム 工	6 7		コンクリート側壁工 間詰工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	6 鋼 製 ダ ム 工	8		水叩工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	6 鋼 製 ダ ム 工	9		現場塗装工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編 2－4－5，6 コンクリート側壁工・間詰工に準ずる。		
第 18 編 2－4－7 水叩工に準ずる。		
第 1 編 3－3－31 現場塗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	3	1	コンクリート工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	3	2	木製枠工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	3	3	鋼製枠工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	3	4	コンクリートブロック工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編2-4-5 コンクリート側壁工に準ずる。		
第18編2-5-5 木製側壁工に準ずる。		
第18編2-6-5 鋼製側壁工に準ずる。		
第1編3-5-3 コンクリートブロック工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	4	1	根固工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	4	2	沈床工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	5	1	かご工 (じゃかご工)		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-17 根固めブロック工に準ずる。		
第1編3-3-18 沈床工に準ずる。		
第18編1-5-10-2 鉄線籠工（じゃかご工）に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	2 溪 間 工	7 護 岸 工	5		かご工 (ふとんかご工)		
18 治 山 編	2 溪 間 工	8 水 制 工	1		水制工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	9 流 路 工	1		流路工		
18 治 山 編	2 溪 間 工	10 異 形 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 工	1		異形ブロック製作	幅	+20 -10
						高さ	+20 -10
						長さ	+20 -10
					異形コンクリートブ ロック据付		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編 1－5－10－1 鉄線籠工（ふと んかご工）に準ずる。		
第 18 編第 2 章第 7 節護岸工に準ずる。		
第 18 編第 2 章第 7 節護岸工に準ずる。		
製作個数の 5 %		
第 1 編 3－3－17 根固めブロック工に 準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	2		植生工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	3		吹付工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	4		法枠工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	5	1	かご工 (じゃかご工)		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2植生工に準ずる。		
第1編3-14-3吹付工に準ずる。		
第1編3-14-4法枠工に準ずる。		
第18編1-5-10-2鉄線籠工（じゃかご工）に準ずる。		

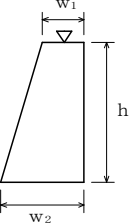
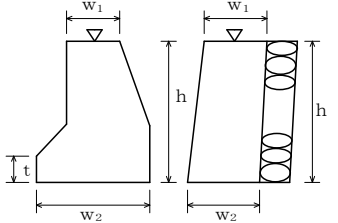
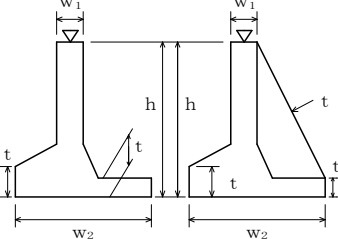
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	3 法 面 工	5	2	かご工 (ふとんかご工)		
18 治 山 編	3 山 腹 工	4 法 切 工	2		法切工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編 1－5－10－1 鉄線籠工（ふとんかご工）に準ずる。		
第 18 編 1－6－2 掘削工、切土工に準ずる。		

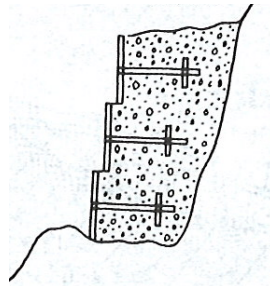
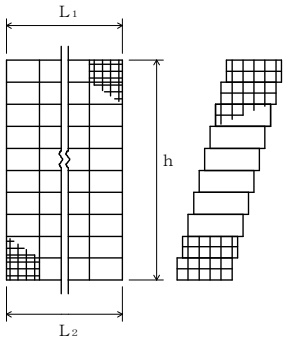
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	3 4		コンクリート土留工 鉄筋コンクリート土留工	基 準 高 ▽	±50	
						厚 さ t	－20	
						裏 込 厚 さ	－50	
						幅 w ₁ , w ₂	－30	
						高さ h	h < 3 m	－50
							h ≧ 3 m	－100
						延 長 L	－200	
						の り 勾 配	±0.2 分	
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	5		石積土留工 コンクリートブロック 積土留工			

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
		
第 1 編 3－5－3－1 コンクリートブロック工に準ずる。		

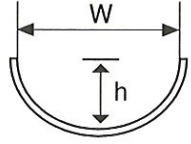
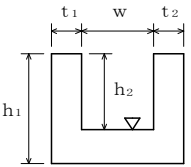
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	6		丸太積土留工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	7		コンクリート板土留工	基 準 高 ∇	± 50
						高 さ h	-50
						延 長 L	-100
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	8		鋼製枠土留工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	5 土 留 工	9		土のう積土留工	高 さ h	-100
						延 長 L_1, L_2	-200
						幅（厚さ） w	-50
						の り 勾 配	± 0.5 分

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編 1－5－5 木製構造物工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
第18編 1－5－12 鋼製枠工に準ずる。		
		

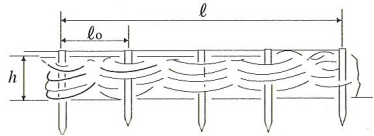
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	7 暗 き よ 工	2 3 4		礫暗きよ工 鉄線籠暗きよ工 二次製品暗きよ工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	7 暗 き よ 工	5		ボーリング暗きよ工		
18 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	2 3 5 6		張芝水路工 練張及び空張水路工 丸太柵及び編柵水路工 土のう等緑化二次製品 水路工	幅 w 高 さ h 延 長 L	－100 －50 －200
18 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	4		鋼製及びコンクリート 二次製品水路工	基 準 高 ∇ 厚 さ t_1, t_2 幅 w 高 さ h_1, h_2 延 長 L	± 30 －20 －30 －30 －200

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3－3－29－3暗渠工に準ずる。		
第18編4－4－1ボーリング暗きよ工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。（なお製品使用の場合は、製品寸法は、規格証明書等による）		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	8 水 路 工	7		集水桝工			
18 治 山 編	3 山 腹 工	9 柵 工	2 3 4 5		編柵工 木柵及び丸太柵工 コンクリート板柵工 鋼製及び合成樹脂二次 製品柵工	延長・	< 1 0 m	-200
							≧ 1 0 m	-2%
						柵 高 h		-30
						杭 の 使 用 本 数		・ / ・ ₀ + 1 以上
						杭 間 隔 ・ ₀		+200
						杭の末口径 D		-10%
18 治 山 編	3 山 腹 工	10 階 段 切 付 工	1		階段切付工			

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3－3－30 集水桝工に準ずる。		
延長は全箇所 柵高、杭間隔、杭径については、杭数の10%程度について検測する。 ただし、杭の使用本数は全数とする		
第18編1－6－2 掘削工、切土工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	11 筋 工	2 3 4 5		石筋工	高 さ h	-50
						延 長 L	-100
						幅 w	-50
						の り 勾 配	±0.5 分
					萱筋工	高 さ h	-50
						延 長 L	-100
						幅 w	-50
					丸太筋工		
					その他緑化二次製品を用いた筋工	高 さ h	-50
						延 長 L	-100
						幅 w	-50
						の り 勾 配	±0.5 分

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所		
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所		
第 18 編 3－9 柵工に準ずる。		
延長は全箇所 施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 （製品寸法は、規格証明書等による）		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	12 伏 工	2 3 4 5		わら伏工 むしろ伏工 網伏工 その他二次製品を用いた伏工	法 長	S L < 5 m	-200
							S L ≥ 5 m	-4%
						延 長 L		-200
						植 被 率		70%以上
18 治 山 編	3 山 腹 工	13 実 播 工	2 3 4		筋実播工 斜面実播工 航空実播工			
18 治 山 編	3 山 腹 工	14 吹 付 工	2 3		種子吹付工A 種子吹付工B			
18 治 山 編	3 山 腹 工	15 植 栽 工	2 3 4		植栽工 (正方形植栽等)	植栽本数（本）		設計数値以上
						植栽列間苗間隔		±200 ※根株等の障害物がある場合は除く
						苗木規格		設計数値以上
						植 付 け 穴		-50
						植 栽 面 積		-0.15%

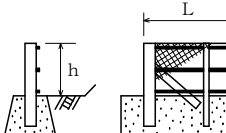
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2植生工に準ずる。		
第1編3-14-2植生工に準ずる。		
・標準地を設定：100 m ² (10m×10m)を標準 1ha未満 標準地2箇所以上 1ha以上5ha未満 標準地3箇所以上 5ha以上は5haを超える毎に1箇所 [例：24ha=3+(24-5)÷5≒7箇所] ・周囲測量図面に測定位置を記載する。		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
標準地毎に2箇所		
周囲測量		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	15 植 栽 工	2 3 4		植栽工 (並木植え等)	植栽本数（本）	設計数値以上
						植栽列間苗間隔	±200 ※根株等の障害物がある場合は除く
						苗木規格	設計数値以上
						植付け穴	-50
						植栽面積	-0.15%
					追肥	施肥面積	-0.15%
						施肥量	設計数値以上
					補植	補植面積	-0.15%
						補植本数（本）	設計数値以上

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
・ 高中木（樹種毎） 200 本未満:5% 500 本未満:4% 500 本以上:3% ・ 低木（樹種毎） 200 本未満:3% 1000 本未満:1.5% 1000 本以上:0.8% ・ 周囲測量図面に測定位置を記載する。		
標準地毎に 2 箇所		
標準地毎に 2 箇所		
標準地毎に 2 箇所		
周囲測量		
周囲測量		
空袋数		
周囲測量		
・ 標準地を設定：100 m² (10m×10m) を標準 1ha 未満 標準地 2 箇所以上 1ha 以上 5ha 未満 標準地 3 箇所以上 5ha 以上は 5ha を超える毎に 1 箇所 [例：24ha=3+(24-5)÷5≒7 箇所] ・ 周囲測量図面に測定位置を記載する。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	3 山 腹 工	16 補 強 土 壁 工	1		補強土壁工 （補強土（テールアル メ）壁工法） （多数アンカー式補強 土工法） （ジオテキスタイルを 用いた補強土工法		
18 治 山 編	3 山 腹 工	17 落 石 防 止 工	3 4 6		鋼製落石防止壁工 落石防護柵工 落石防護土留工	高 さ h	±30
						延 長 L	－200
18 治 山 編	3 山 腹 工	17 落 石 防 止 工	5 7		落石防護網工 固定工（ロープ伏工）	幅 W	－200
						延 長 L	－200

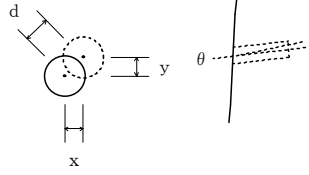
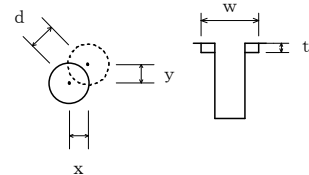
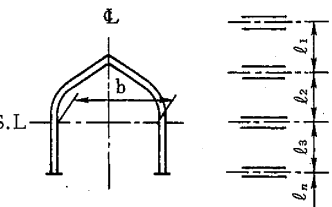
単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 1 編 3－15－3 補強土壁工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		

単位：mm

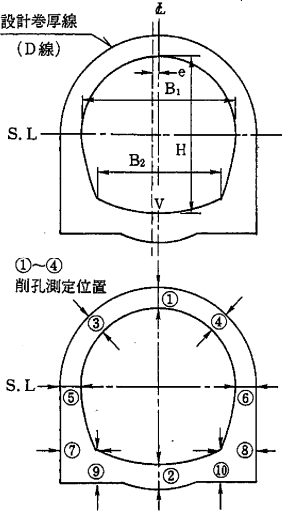
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	4 地すべり防止工	4 ボーリング暗きょ工	1		ボーリング暗きょ工	削 孔 深 さ ℓ	設計値以上
						配 置 誤 差 d	100
						せん孔方向 θ	±2.5 度
18 治山編	4 地すべり防止工	5 集水井工	3		集水井工	基 準 高 ∇	±50
						偏 心 量 d	150
						長 さ L	－100
						巻 立 て 幅 w	－50
						巻立て厚さ t	－30
18 治山編	4 地すべり防止工	6 排水トンネル工	3		支保工	設 置 間 隔	±75
						幅 b (B タイプ)	－0
						幅 b (C・D タイプ)	－40

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全数	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。	 $d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
間隔、幅は、全基数について測定する。 支保工幅の測定時期は、原則として建込み直後及び覆工前の2回とする。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
18 治山編	4 地すべり防止工	6 排水トンネル工	5		覆工	基 準 高 ▽		±50
						幅 W		-0
						厚 さ t		-40
						高 さ h		-40
						中心線のズレ	直線部	±100
							曲線部	±150
						施工延長	1 5 0 m未満	-150
							1 5 0 m以上	-0.1%
18 治山編	4 地すべり防止工	7 排土及び押え盛土	23		排土工			
					押え盛土工			
18 治山編	4 地すべり防止工	8 杭工	2		鋼管杭 合成杭			

単位：mm

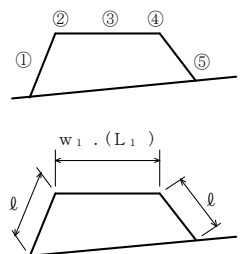
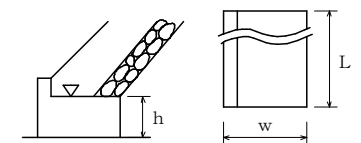
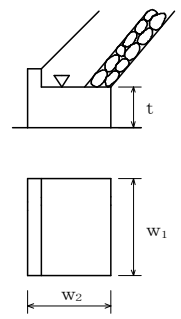
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1. 基準高、厚さ、幅、高さについては、1スパンにつき1箇所の割合で測定する。 2. 巻 厚 (1) コンクリート打設前の巻立空間を1スパンの終点において図に示す①～⑩の各点で測定する。 (2) コンクリート打設後の覆工コンクリートについて1スパンの端部（施工継目）において図に示す①～⑩の各点で測定する。 (3) 削孔による巻厚の測定は、図の①において50mにつき1箇所、②③④において100mにつき1箇所の割合で行う。 ただしmトンネル延長が100m未満のものについては2箇所以上の以上の削孔を行い巻厚測定を行う。 3. 中心線のズレ 直線部は50mにつき1箇所、曲線部は1スパンにつき1箇所の割合で測定する。		
第18編1-6-2掘削工、切土工に準ずる。		
第18編1-6-3盛土工、埋戻しに準ずる。		
第1編3-4-4既製杭工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	4 地 す べ り 防 止 工	9 シ ヤ フ ト 工 （ 深 礎 工 ）	1		シャフト工（深礎工）		
18 治 山 編	4 地 す べ り 防 止 工	10 ア ン カ ー 工	2		アンカー工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3－4－6深礎工に準ずる。		
第1編3－14－6アンカー工に準ずる。		

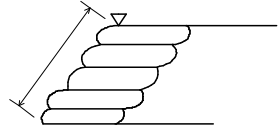
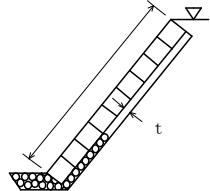
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸 防災林造成	4 護岸基礎工	4		捨石工	基 準 高 ▽	±50
						本 均 し	±100
						表 面 均 し	±100
						荒 均 し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ
						異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300
						被 覆 均 し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ
						異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±500
						法 長 ℓ	±300
18 治山編	5 海岸 防災林造成	4 護岸基礎工	5		場所打コンクリート工	天 端 幅 w_1	±100
						天 端 延 長 L_1	±100
						基 準 高 ▽	±30
						幅 w	±30
						高 さ h	±30
18 治山編	5 海岸 防災林造成	4 護岸基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	延 長 L	±200
						基 準 高 ▽	±50
						ブロック厚 t	±20
						ブロック縦幅 w_1	±20
						ブロック横幅 w_2	±20

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。  幅は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		
ブロック個数 40 個につき 1 箇所の割で測定。基準高、延長は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	4 護 岸 基 礎 工	7	1	笠コンクリート工		
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	4 護 岸 基 礎 工	7	2	笠コンクリート工 (プレキャスト笠コン クリート)		
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	4 護 岸 基 礎 工	8	1	基礎工		
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	4 海 岸 基 礎 工	8	2	基礎工 (プレキャスト基礎工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-4-3法留基礎工に準ず る。		
第1編3-4-3法留基礎工に準ず る。		
第1編3-4-3法留基礎工に準ず る。		
第1編3-4-3法留基礎工に準ず る。		

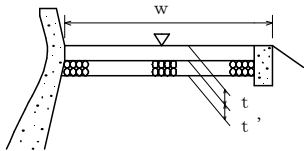
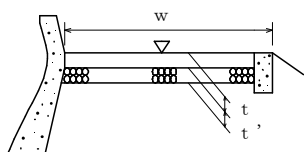
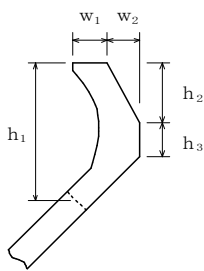
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸 防災林 造成	4 護岸 基礎工	9		矢板工		
18 治山編	5 海岸 防災林 造成	5 護岸 工	3		捨石張り工	基 準 高 ∇	±50
						法 長 l	$l < 3\text{ m}$ -50
						$l \geq 3\text{ m}$	-100
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸 防災林 造成	5 護岸 工	4		石張り・石積み工		
18 治山編	5 海岸 防災林 造成	5 護岸 工	5		海岸コンクリートブロック工（製作）		
					海岸コンクリートブロック工	基 準 高 ∇	±50
						法 長 l	$l < 5\text{ m}$ -100
						$l \geq 5\text{ m}$	$l \times (-2\%)$
						厚 さ t	-50
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-4矢板工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第1編3-5-5石積（張）工に準ずる。		
第 18 編第 2 章第 10 節異形ブロック製作に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		

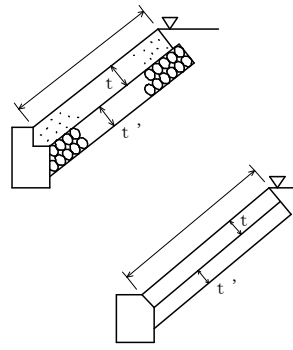
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
18 治山編	5 海岸防 災林 造成	5 護岸 工	6		コンクリート被覆工	基 準 高 ▽	±50	
						法長 ℓ	ℓ < 3 m	−50
							ℓ ≥ 3 m	−100
						厚さ t	t < 100	−20
							t ≥ 100	−30
						裏 込 材 厚 t′	−50	
						延 長 L	−200	
2 治山編	5 海岸防 災林 造成	5 護岸 工	7		現場打擁壁工	基 準 高 ▽	±50	
						厚 さ t	−20	
						裏 込 厚 さ	−50	
						幅 w ₁ , w ₂	−30	
						高さ h	h < 3 m	−50
							h ≥ 3 m	−100
						延 長 L	−200	

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		1 施工箇所毎

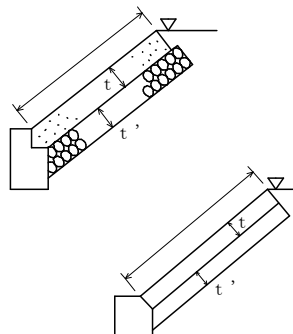
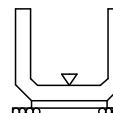
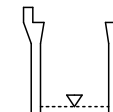
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸防 災林造成	6 天端被 覆工	2		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w	-50
						厚 さ t	-10
						基 礎 厚 t'	-45
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸防 災林造成	6 天端被 覆工	3		アスファルト被覆工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w	-50
						厚 さ t	-9
						基 礎 厚 t'	-45
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸防 災林造成	7 波返工	3		波返工	基 準 高 ∇	± 50
						幅 w_1, w_2	-30
						高さ $h < 3\text{m}$ h_1, h_2, h_3	-50
						高さ $h \geq 3\text{m}$ h_1, h_2, h_3	-100
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸防 災林造成	8 裏法被 覆工	2		石積（張）工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さはコアー1000 m ² に 1 箇所		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第 1 編 3－5－5 石積（張）工に準ずる。		

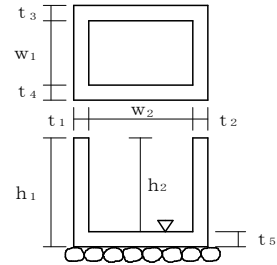
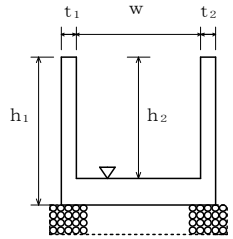
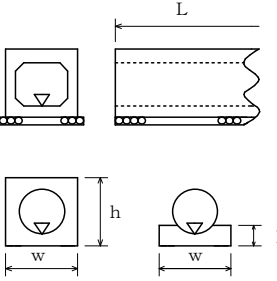
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック張り) (コンクリートブロック積み)		
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)		
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	4		コンクリート被覆工	基 準 高 ∇ 法 長 l $l < 3 \text{ m}$ $l \geq 3 \text{ m}$ 厚 さ t $t < 100$ $t \geq 100$ 裏 込 材 厚 t' 延 長 L	± 50 -50 -100 -20 -30 -50 -200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		
第1編3-5-3コンクリートブロック工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		

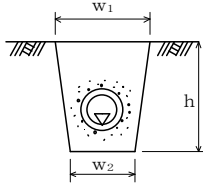
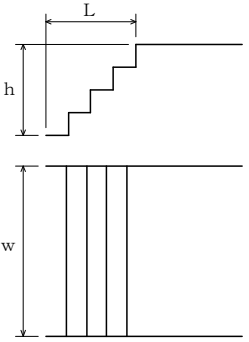
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	5		アスファルト被覆工	基 準 高 ▽		±50
						法 長 ℓ	ℓ < 3 m	－50
							ℓ ≥ 3 m	－100
						厚 さ t	t < 100	－20
							t ≥ 100	－30
						裏 込 材 厚 t'		－50
						延 長 L		－200
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	8 裏 法 被 覆 工	6		法枠工 (現場打法枠工) (プレキャスト法枠工) (現場吹付法枠工)			
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	9 排 水 構 造 物 工	3	1	側溝工 (プレキャストU型側溝)	基 準 高 ▽		±30
						延 長 L		－200
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	9 排 水 構 造 物 工	3	2	側溝工 (自由勾配側溝)	基 準 高 ▽		±30
						延 長 L		－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第1編3-14-4法枠工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	4		集水桝工	基 準 高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	5		堤脚水路工	基 準 高 ∇	± 30
						厚さ t_1, t_2	-20
						幅 w	-30
						高さ h_1, h_2	-30
						延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	6	1	管渠工 (プレキャストパイプ) (プレキャストボックス)	基 準 高 ∇	± 30
						※幅 w	-50
						※高 さ h	-30
						延 長 L	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 なお、製品使用の場合は、製品寸法については規格証明書等による。		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	9 排水構造物工	6	2	管渠工 （コルゲートパイプ） （ダクタイル鋳鉄管）	基 準 高 ∇	±30
						幅 w_1, w_2	－50
						高 さ h	－30
						延 長 L	－200
18 治山編	5 海岸林造成	10 付属物設置工	4		階段工	幅 w	－30
						高 さ h	－30
						長 さ L	－30
						段 数	±0段
18 治山編	5 海岸林造成	10 付属物設置工	5		防止柵工		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	4	1	アスファルト舗装工 （下層路盤）		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
1 回／1 施工箇所		
第 1 編 3－3－7 防止柵工に準ずる。		
第 1 編 3－6－7－1 下層路盤工に準ずる。		

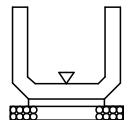
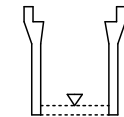
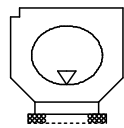
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	4	2	アスファルト舗装工 （上層路盤）		
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	4	3	アスファルト舗装工 （基層）		
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	4	4	アスファルト舗装工 （表層）		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-6-7-2上層路盤工に準ずる。		
第1編3-6-7-5基層工に準ずる。		
第1編3-6-7-6表層工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	1	コンクリート舗装工 （下層路盤）		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	2	コンクリート舗装工 （上層路盤）		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	5	3	コンクリート舗装工 （コンクリート舗装）		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	6	1	薄層カラー舗装工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-6-12-1 下層路盤工に準ずる。		
第1編3-6-12-2 粒度調整路盤工に準ずる。		
第1編3-6-12-5 コンクリート舗装版工に準ずる。		
第1編3-6-13 薄層カラー舗装工に準ずる。		

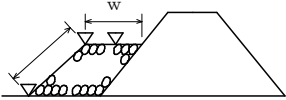
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山 編	5 海岸 林造 成	11 付帯 道路 工	7	1	側溝工 （プレキャストU型側 溝）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
18 治山 編	5 海岸 林造 成	11 付帯 道路 工	7	2	側溝工 （L型側溝）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
18 治山 編	5 海岸 林造 成	11 付帯 道路 工	7	3	側溝工 （自由勾配側溝）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
18 治山 編	5 海岸 林造 成	11 付帯 道路 工	7	4	側溝工 （管渠）	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	8		集水桝工	基準高▽	±30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	9		縁石工		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	10		小型標識工		
18 治山編	5 海岸林造成	11 付帯道路工	11		路側防護柵工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1箇所毎 ※は現場打部分のある場合		
第1編3-3-5縁石工に準ずる。		
第1編3-3-6小型標識工に準ずる。		
第1編3-3-8路側防護柵工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	12		区画線工			
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	11 付 帯 道 路 工	14		道路付属物工			
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	12 根 固 め 工	2		捨石工（根固め工）	基 準 高 ▽	異形ブ ^{ロック} 据付面 （乱積）の高さ	±500
							異形ブ ^{ロック} 据付面 （乱積）以外の高さ	±300
						法 長 ℓ		－100
						天 端 幅 w		－100
						天 端 延 長 L		－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3－3－9区画線工に準ずる。		
第1編3－3－10道路付属物工に準ずる。		
施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。 幅は施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	12 根固工	3		根固ブロック工 (製作)		
					根固ブロック工	基準 高 ▽	
						層 積	±300
						乱 積	± t / 2
						厚 さ t	-20
						幅 w ₁	層 積
						w ₂	乱 積
						延長 L ₁	層 積
						L ₂	乱 積
							- t / 2
18 治山編	5 海岸林造成	13 消波工	2		捨石工（消波工）	基準 高 ▽	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ
							異形ブロック据付面 (乱積)以外の高さ
						法 長 ℓ	-100
						天 端 幅 w	-100
						天 端 延 長 L	-200
18 治山編	5 海岸林造成	13 消波工	3		消波ブロック工 (製作)		
					消波ブロック工	基準 高 ▽	
						層 積	±300
						乱 積	± t / 2
						厚 さ t	-20
						幅 w ₁ , w ₂	-20
						延長 L ₁ , L ₂	-200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編第2章第10節異形ブロック 製作に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。		
1 施工箇所毎		
施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。		
幅は施工延長 40m（測点間隔 25mの場 合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又 は 50m）以下のものは 1 施工箇所につ き 2 箇所、延長はセンターライン及び 表裏法肩。		
第18編第2章第10節異形ブロック 製作に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所。延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
幅、厚さは 40 個につき 1 箇所測定。		

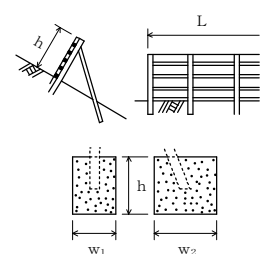
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	14 砂 丘 造 成	1		堆砂工 (堆砂垣・丘頂柵工)		
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	14 砂 丘 造 成	2		盛土工		
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	14 砂 丘 造 成	3		覆砂工 (伏工・砂草植栽)		
18 治 山 編	5 海 岸 林 造 成	14 砂 丘 造 成	4		実播工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編第 3 章第 9 節柵工に準ずる。		
第 1 編 4－3－3 盛土工に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 12 節伏工に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 13 節実播工に準ずる。		

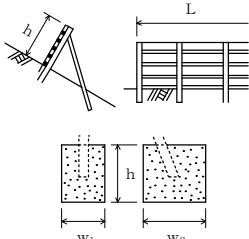
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	1 3		防風工 静砂工（静砂垣）	高 さ H	-30
						延 長 L	-2.0%
18 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	2		排水工		
18 治山編	5 海岸林造成	15 森林造成	4		植栽工		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	1		防風柵		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	2		水路工		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	2		暗きょ工		
18 治山編	5 海岸林造成	16 防風林の造成	3		植栽工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 延長は全箇所 （製品寸法は、規格証明書等による）		
第 18 編第 3 章第 8 節水路工に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 15 節植栽工に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 9 節柵工に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 8 節水路工に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 7 節暗きょ工に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 15 節植栽工に準ずる。		

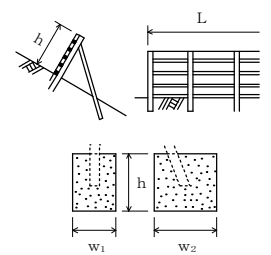
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	5 海 岸 防 災 林 造 成	17 異 形 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 工	1 2		異形コンクリートブ ロック工		
18 治 山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	5 雪 び 予 防 工	1		吹きだめ柵 吹き払い柵	高 さ h	±30
						延 長 L	－200
						基礎 幅 w ₁ , w ₂	－30
						高 さ h	－30
18 治 山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	6 な だ れ 予 防 工	1		階段工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編第 2 章第 10 節異形コンクリートブロック工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
第 18 編 1－6－2 掘削工、切土工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	2		予防柵 防止柵	高 さ h	±30
						延 長 L	－200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂
							高 さ h
						アンカー 長 ℓ	打 込 み ℓ
							埋 込 み ℓ
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	3		吊柵 吊枠		
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	5		誘導擁壁		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎 全数		
第 18 編 3 章 17 節 落石防止工に準ずる。		
第 18 編 第 3 第 5 節 土留工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	6		誘導柵	高 さ h		±30
						延 長 L		－200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	－30
							高 さ h	－30
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	7		減勢杭	杭 間 隔		±100
						高 さ h		－100
						根 入 長		設計値以上
18 治山編	6 なだれ防止林造成	6 なだれ予防工	7		減勢枠工			
18 治山編	6 なだれ防止林造成	7 防護工	1		防護擁壁			

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
全数		
第 18 編 1-5-12 枠工（鉄筋コンクリート方格枠）に準ずる。		
第 18 編第 3 章第 5 節土留工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
18 治 山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	7 防 護 工	2		防護柵		
18 治 山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	8 グ ラ イ ド 防 止 工	1		木柵階段工		
18 治 山 編	6 な だ れ 防 止 林 造 成	9 森 林 造 成	1		植栽工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 18 編 6－6－2 防止柵に準ずる。		
第 18 編 1－6－2 掘削工、切土工及び 第 18 編 3－9－3 木柵及び丸太柵工に 準ずる。		
第 18 編 第 3 章 第 15 節 植栽工に準ずる。		

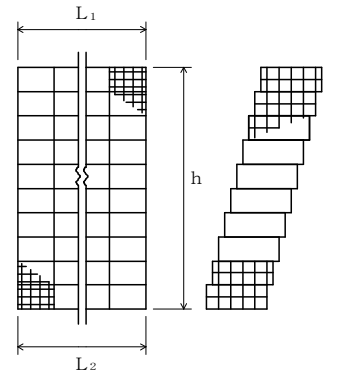
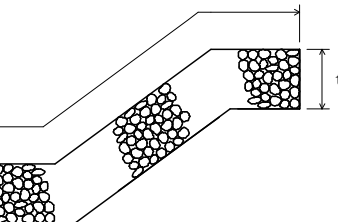
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林 道 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	1	1	植生工 (種子吹付工) (張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (種子筋工) (人工張芝工) (植生穴工)		
19 林 道 編	1 森 林 整 備 工 事 の 適 用	5 一 般 施 工	1	2	植生工 (厚層基材吹付工) (客土吹付工)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2-1 植生工に準ずる。		
第1編3-14-2-2 植生工に準ずる。		

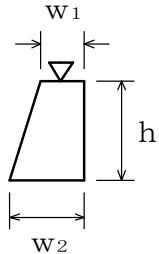
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	2		区画線工		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	4		視線誘導標		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	5		木製構造物工	延 長 L	-100
						幅（厚さ）w1, w2	-50
						の り 勾 配	±0.5 分
						高 さ h	-100

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-9区画線工に準ずる。		
第1編3-3-10道路付属物工に準ずる。		
施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1箇所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2箇所。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	1	鉄線籠工 (ふとんかご工)	高 さ h	-100
						延 長 L_1, L_2	-200
						幅 (厚さ) w	-50
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	10	2	鉄線籠工 (じゃかご工)	法 長 ℓ	
						$\ell < 3 \text{ m}$	-50
						$\ell \geq 3 \text{ m}$	-100
						厚 さ t	-50
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	11		管きょ工 (ヒューム管) (PC管) (コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
第19編 2-6-7 プレキャストカルバート工に準ずる。		

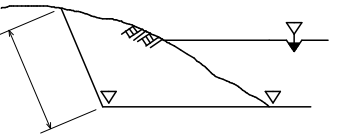
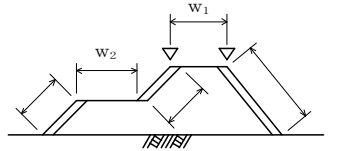
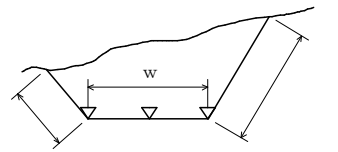
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	12		杵工 (鉄筋コンクリート方杵) (片法杵工) (鋼製杵工)	基 準 高 ∇	±50
						幅 w	－30
						高 さ h	－50
						延 長 L	－200
						の り 勾 配	±0.5 分
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	13		鋼製柵工		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	14		金網張工	幅 w	－200
						延 長 L	－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25m の場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 		
第 18 編 1－5－13 鋼製柵工に準ずる		
1 施工箇所毎		

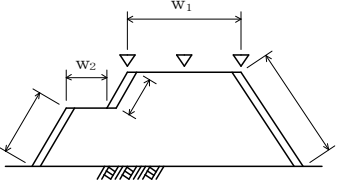
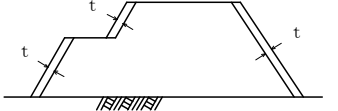
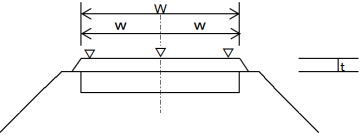
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	1	土留・仮締切・土のう工 (H鋼杭) (鋼矢板)		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	2	土留・仮締切・土のう工 (アンカー工)		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	3	土留・仮締切・土のう工 (連節ブロック張り工)		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	4	土留・仮締切・土のう工 (締切盛土)		
19 林道編	1 森林整備工事の適用	5 一般施工	15	5	土留・仮締切・土のう工 (中詰盛土)		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-10-5-1 土留・仮締切工に準ずる。		
第1編3-10-5-2 土留・仮締切工に準ずる。		
第1編3-10-5-3 土留・仮締切工に準ずる。		
第1編3-10-5-4 土留・仮締切工に準ずる。		
第1編3-10-5-5 土留・仮締切工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	2 一般土工		掘削工、切土工	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	−200
							ℓ ≥ 5 m	法長− 4 %
						延 長		−200
						の り 勾 配		± 5 厘
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	3 一般土工		盛土工、埋戻し	基 準 高 ▽		−50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	−100
							ℓ ≥ 5 m	法長− 2 %
						幅 w ₁ , w ₂		−100
						延 長		−200
						の り 勾 配		± 5 厘
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	8 道路土工		掘削工、切土工	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	−200
							ℓ ≥ 5 m	法長− 4 %
						幅 w		−100
						の り 勾 配		± 5 厘

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。		
施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	9 10 道路土工	2	盛土工 (路床、路体 :舗装施工) 盛土工 (砂利施工)	基 準 高 ▽		±50
						法長 ℓ	ℓ < 5 m	－100
							ℓ ≥ 5 m	法長－ 2 %
						幅 w ₁ , w ₂		－100
						の り 勾 配		± 5 厘
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	9 10 道路土工	3	法面整形工（盛土工）	厚 t		※－30
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	道路土工（共通）	4	路線、縦断	I P 測点	コンパス	± 1°
							トランシット	±30'
						IP 間の距離		40m ≤ ±200mm 40m > ±1/200
						各測点間距離		±100
						総延長距離		－500
						直線区間の寄り		100
						施工基面高		±100
19 林道編	1 森林整備工事の適用	6 土工	道路土工（共通）	5	上層路盤工（砂利施工）	基 準 高 ▽		±50
						敷 厚		－20
						敷 幅		－50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		
施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		
全測点を測定する。		
施工延長 40mにつき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 平均値は設計厚以上 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	1 森林整備工事適用	7 土工	道路土工（共通）	6	下層路盤工（砂利施工）	基準高▽	±50
						敷 厚	-20
						敷 幅	-50
19 林道編	1 森林整備工事の適用	8 土工	道路土工（共通）	7	コンクリート路面工	基準高▽	±50
						敷 厚	-10
						敷 幅	-25
19 林道編	1 森林整備工事の適用	9 土工	道路土工（共通）	8	コンクリート路面工（路盤工）	基準高▽	±50
						敷 厚	-20
						敷 幅	-50

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 平均値は設計厚以上 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		
敷幅 80m につき 1 箇所。 敷厚 200m に 1 箇所の割合でコア若しくは端部で測定。 ただし、1 施工箇所 で 3 箇所以上測定すること。 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		
施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所 平均値は設計厚以上 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	2 道路 工事	4 法面 工	2		植生工		
19 林道 編	2 道路 工事	4 法面 工	3		法面吹付工 (コンクリート) (モルタル)		
19 林道 編	2 道路 工事	4 法面 工	4		法枠工		
19 林道 編	2 道路 工事	4 法面 工	6 8		アンカー工 アンカー工 (プレキャストコンク リート板)		

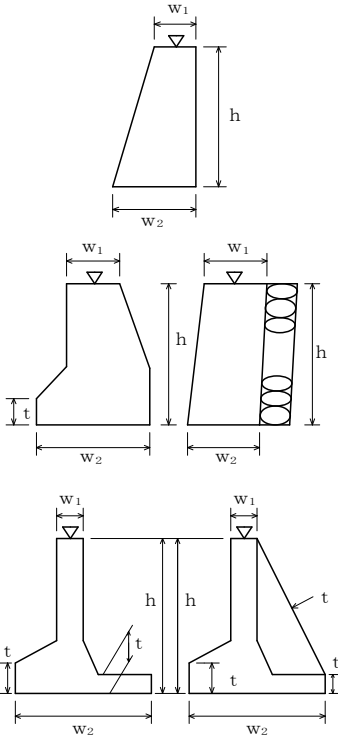
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-14-2 植生工に準ずる。		
第1編3-14-3 吹付工に準ずる。		
第1編3-14-4 法枠工に準ずる。		
第1編3-14-6 アンカー工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	2 道路工事	4 法面工	7		かご工 (じゃかご)		
19 林道編	2 道路工事	4 法面工	7		かご工 (ふとんかご)		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	3		既製杭工		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	4		場所打杭工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 19 編 1－5－10 鉄線籠工(じゃかご工) に準ずる		
第 19 編 1－5－10 鉄線籠工(ふとんかご工) に準ずる		
第 1 編 3－4－4 既製杭工に準ずる。		
第 1 編 3－4－5 場所打杭工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	5		場所打擁壁工	基 準 高 ∇		± 50
						厚 さ t		-20
						裏 込 厚 さ		-50
						幅 w_1, w_2		-30
						高さ h	$h < 3 \text{ m}$	-50
							$h \geq 3 \text{ m}$	-100
						延 長 L		-200
						のり勾配		$\pm 0.2 \text{ 分}$
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	6		プレキャスト擁壁工			

単位：mm

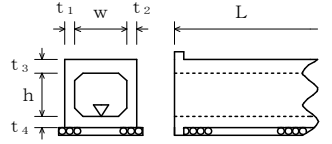
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
第 1 編 3－15－2 プレキャスト擁壁工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	7		補強土壁工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	8		井桁ブロック工		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	9		コンクリートブロック 擁壁工		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	10		石積（張）工		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	11 12 13		かご擁壁工 鋼製擁壁工 簡易鋼製土留擁壁工		
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	14		木製土留・擁壁工		

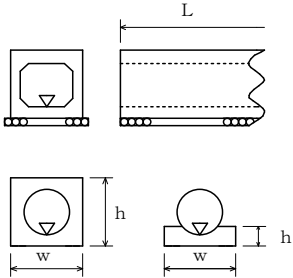
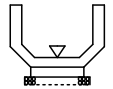
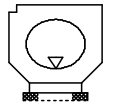
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第 1 編 3－15－3 補強土壁工に準ずる。		
第 1 編 3－15－4 井桁ブロック工に準ずる。		
第 1 編 3－5－3－1 コンクリートブロック工に準ずる。		
第 1 編 3－5－5 石積（張）工に準ずる。		
第 19 編 1－5－12 枠工に準ずる。		
第 19 編 1－5－5 木製構造物工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	15		土のう積工			
19 林道編	2 道路工事	5 擁壁工	16		土留・仮締切工			
19 林道編	2 道路工事	6 カルバート工	6		場所打函渠	基 準 高 ▽		±30
						厚さ $t_1 \sim t_4$		－20
						幅（内法） w		－30
						高 さ h		±30
						延長 L	L < 20m	－50
							L ≥ 20m	－100

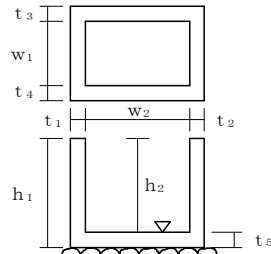
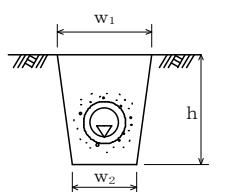
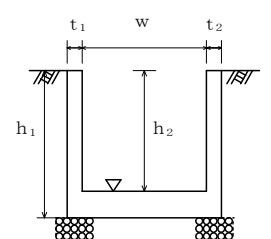
単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第18編3－5－9土のう積土留工に準ずる。		
第19編1－5－15土留・仮締切り・土のう工に準ずる。		
両端、施工継手及び図面の寸法表示箇所で測定		

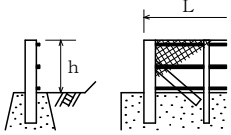
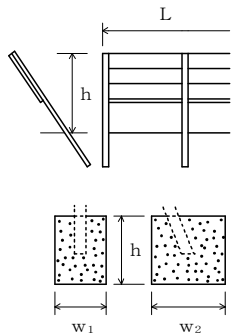
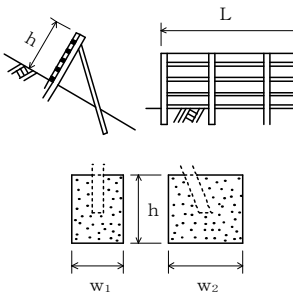
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	2 道 路 工 事	6 カ ル バ ー ト 工	7		プレキャストカルバー ト工 (プレキャストボック ス工) (プレキャストパイプ 工)	基 準 高 ▽	±30
						※幅 w	－50
						※高 さ h	－30
						延 長 L	－200
19 林道 編	2 道 路 工 事	6 カ ル バ ー ト 工	9		土留・仮締切工		
19 林道 編	2 道 路 工 事	7 排 水 施 設 工	3		側溝工 (プレキャストU型側 溝) (コルゲートフリュー ム) (自由勾配側溝)	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
19 林道 編	2 道 路 工 事	7 排 水 施 設 工	4		管渠工	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 ※印は、場所打のある場合。 1 施工箇所毎		
第 19 編 1－5－16 土留・仮締切・土のう工に準ずる。		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	5		集水桝	基 準 高 ∇	±30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	−20
						※幅 w_1, w_2	−30
						※高さ h_1, h_2	−30
19 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	6		地下排水工	基 準 高 ∇	±30
						幅 w_1, w_2	−50
						深 さ h	−30
						延 長 L	−200
19 林道編	2 道路工事	7 排水施設工	7		現場打（組立）水路工	基 準 高 ∇	±30
						厚 さ t_1, t_2	−20
						幅 w	−30
						高 さ h_1, h_2	−30
19 林道編	2 道路工事	8 落石雪害防止工	4		落石防止網工	延 長 L	−200
						幅 w	−200
						延 長 L	−200

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所毎 ※は、場所打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。		
1 施工箇所毎		
1 施工箇所毎		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値
19 林道編	2 道路工事	8 落石雪害防止工	5		落石防護柵工	高 さ h		±30
						延 長 L		−200
19 林道編	2 道路工事	8 落石雪害防止工	6		防雪柵工	高 さ h		±30
						延 長 L		−200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	−30
							高 さ h	−30
19 林道編	2 道路工事	8 落石雪害防止工	7		雪崩予防柵工	高 さ h		±30
						延 長 L		−200
						基礎	幅 w ₁ , w ₂	−30
							高 さ h	−30
						アンカー長 ℓ	打 込 み ℓ	−10%
							埋 込 み ℓ	−5%

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎 基礎 1 基毎 全数		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値 の平均 ($\bar{X}_{10}$)	
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
19 林道編	3 舗装	3 舗装工	6		半たわみ性舗装工					
19 林道編	3 舗装	3 舗装工	7		排水性舗装工					

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3－6－8 半たわみ性舗装工に準ずる。		
第1編3－6－9 排水性舗装工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値			
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値 の平均 ($\bar{X}_{10}$)	
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下
19 林道 編	3 舗 装	3 舗 装 工	9		グースアスファルト 舗装工					
19 林道 編	3 舗 装	3 舗 装 工	10		コンクリート舗装工					
19 林道 編	3 舗 装	3 舗 装 工	11		薄層カラー舗装工					
19 林道 編	3 舗 装	3 舗 装 工	12		ブロック舗装工					

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-6-11 グースアスファルト 舗装工に準ずる。		
第1編3-6-12 コンクリート舗装工 に準ずる。		
第1編3-6-13 薄層カラー舗装工に 準ずる。		
第1編3-6-14 ブロック舗装工に準 ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 格 値		
							個々の測定値 (X)		10 個の測定値 の平均 ($\bar{X}_{10}$)
							中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上
19 林道 編	3 舗装	3 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	基準高▽	±50		—
						厚 さ	t < 15cm	－30	－10
							t ≥ 15cm	－45	－15
						幅	－100		—
19 林道 編	3 舗装	3 舗装工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	厚 さ	－9		－3
						幅	－25		—
						▽基準高	±30		—

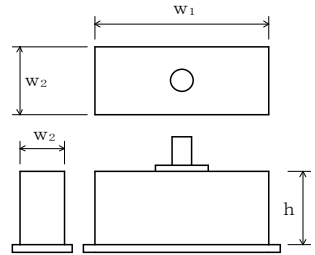
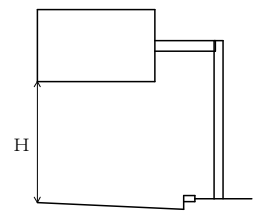
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
基準高は片側延長 40m毎に 1 箇所の割で測定。 厚さは、片側延長 200m毎に 1 箇所掘り起こして測定。 幅は、片側延長 80m毎に 1 箇所測定。 ※両端部 2 点で測定する。	○施工規模の考え方 ・中規模以上の工事とは、1 層あたりの施工面積が 2,000m² 以上かつ使用する 基層および表層用混合物の総使用量が 500t 以上の場合。 ・小規模工事とは、1 層あたりの施工面積が 2,000m² 未満または使用する 基層および表層用混合物の総使用量が 500t 未満(コンクリートでは 400m³ 未満) ○厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10 個の測定値の平均値($\bar{X}_{10}$)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータが 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
幅は、片側延長 80m毎に 1 箇所の割で測定。厚さは、片側延長 200m毎に 1 箇所コアーを採取して測定。 基準高は延長 40m ごとに 1 箇所の割とし、道路中心線および端部で測定。	コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道 編	3 舗装	4 路面排水工	3	4	側溝工 (L型街渠工) (L0型街渠工) (プレキャストU型側溝工) (管(函)渠型側溝工) 管渠工	基 準 高 ∇	± 30
						延 長 L	-200
			4				
19 林道 編	3 舗装	4 路面排水工	5		街渠柵・マンホール工 (街渠柵工) (マンホール工)	基 準 高 ∇	± 30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	-20
						※幅 w_1, w_2	-30
						※高さ h_1, h_2	-30
19 林道 編	3 舗装	4 路面排水工	6		排水性舗装用路肩排水工	基 準 高 ∇	± 30
						延 長 L	-200
19 林道 編	3 舗装	5 防護柵工	3		路側防護柵工		

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、施工延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 箇所／1 施工箇所		
1 箇所／施工延長 40m ※は現場打部分のある場合		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 箇所／1 施工箇所		
第 1 編 3 - 3 - 8 路側防護柵工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	3 舗装	5 防護柵工	4		防止柵工		
19 林道編	3 舗装	6 標識工	3		小型標識工		
19 林道編	3 舗装	6 標識工	4		土留・仮締切工		
19 林道編	3 舗装	6 標識工	5		大型標識工 （標識基礎工）	幅 w_1, w_2	－30
						高 さ h	－30
19 林道編	3 舗装	6 標識工	5		大型標識工 （標識柱工）	設置高さ H	設計値以上

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3－3－7防止柵工に準ずる。		
第1編3－3－6小型標識工に準ずる。		
第1編3－10－5土留・仮締切工に準ずる。		
基礎一基毎		
1箇所／1基		

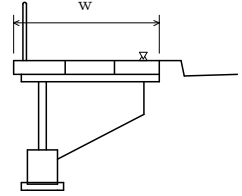
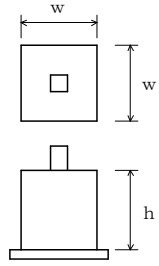
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	3		区画線工		
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	4		縁石工		
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	7		道路付属物工		

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第1編3-3-9区画線工に準ずる。		
第1編3-3-5縁石工に準ずる。		
第1編3-3-10道路付属物工に準ずる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施設工	8		踏掛版工 （コンクリート工）	基 準 高	±20
						各 部 の 厚 さ	±20
						各 部 の 長 さ	±30
					（ラバーシュー）	各 部 の 長 さ	±20
						厚 さ	
					（アンカーボルト）	中 心 の ず れ	±20
						ア ン カ ー 長	±20
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施設工	9		組立歩道工	基 準 高 ▽	±30
						幅 w	－30
						延 長 L	－200
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施設工	9		組立歩道工 （支柱基礎工）	幅 w	－30
						高 さ h	－30

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 箇所／1 踏掛版		
1 箇所／1 踏掛版		
1 箇所／1 踏掛版		
全数		
全数		
全数		
施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1 箇所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 1 施工箇所毎		
1 箇所／1 施工箇所		
		

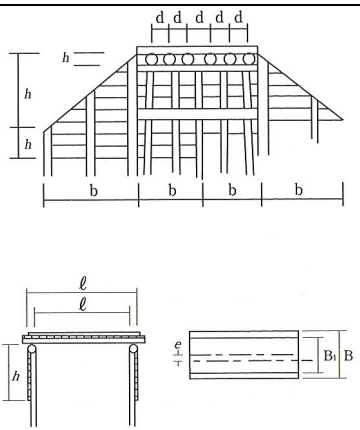
編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	10		ケーブル配管工	基 準 高 ▽	±30
						延 長 L	－200
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	10		ケーブル配管工 (ハンドホール)	基 準 高 ▽	±30
						※厚さ $t_1 \sim t_5$	－20
						※幅 w_1, w_2	－30
						※高さ h_1, h_2	－30
19 林道編	3 舗装	7 道路付 属物施 設工	11		照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	－30
						高 さ h	－30

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
接続部間毎に1箇所 接続部間毎で全数		
1箇所毎 ※印は、現場打ちの場合		
1箇所／1施工箇所		

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
19 林 道 編	7 木 造 橋	3 木 造 橋			木造橋（上下部構造）	基準高▽	±100	
						橋長、支間長		±50
						全 幅（B） 及び 全幅員（B 1）		±50
						けた中心間距離（d）		±30
						橋台土留め （橋軸直角 又は 斜角方向）	幅 （b）	-50
							高さ （h）	-30
						加工部材長さ		±50
						橋軸の編心量（e）		±100

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
全箇所 橋軸方向の断面寸法は、中央及び両端部、その他は寸法表示箇所を測定する。		
けた、はり、ぬき、筋かい、高欄等の各部材		